

下山由紀子さま

大変ご無沙汰しております。

昨年 11 月 3 日に羽田を発ち、約 2 カ月半をバルセロナに滞在いたしました。バルセロナは 2 度目の訪問。今回は息子の妻と 7 歳の孫娘との 3 人暮らしの中、日本から移住された方や長く駐在されている方々との交流もあり、楽しい思い出をたくさん持ち帰りました。

とりわけ、私たち家族にとって医療通訳者の下山さんとの出会いは幸運そのもの。孫娘の高熱に始まり、私の 2 度の救急搬送に対応していただきました。

毎回、医療通訳の範疇に止まらず、様々なご助言と穏やかな笑顔で寄り添い力づけてくださいましたことの次第を、ぜひホームページに投稿させていただきたいと思いません。

私の 1 回目の救急搬送は 12 月 24 日。突然意識を失って倒れ、後頭部裂傷でした。息子の妻がすぐ下山さんに指示をいただき、救急車で病院へ。外来は混み合っていました。下山さんが駆けつけてくださると、程なく治療を受けることができました。スペイン語はまるで理解できませんので、下山さんが終始付き添ってくださってレントゲン検査と傷の手当を受け、幸い縫合の必要もなく帰宅できました。

ところが約 2 週間後の朝、めまいが酷くてベッドから起き上がれず、再度ご指示をいただき、私設救急車で私立病院の Centoro Medico Teknon へ。玄関口で下山さんが出迎えてくださったときは本当に安堵いたしました。

4 日間の検査入院中は、不安でいっぱいながらも窓からはモンジュイックの丘が絵画のように広がる個室でゆったり過ごすことができました。

また院内を移動中、どこでもスタッフやドクターから「Yuki! Yuki」と声がかかり、私にも温かな笑顔を向けてくださるので、その度にお人柄への信頼も増しました。

もちろん診察時には医療の専門用語を交えた先生とのやり取りを、私に分かるように丁寧に伝えてくださいます。その上で患者の立場から先生にお聞きしておくべきことなどを質問してフィードバックしてくださいます。それがどんなにありがたかったか。様々なケースに立ち会い、医療通訳者として信頼されるお仕事ぶりがどれほど優秀でいらっしゃるかを実感いたしました。ほんとお会いできて幸運でした。

めまいの症状は MRI 検査と神経科医による診断、毎朝の回診、耳鼻科で三半規管の診察と投薬などでほぼ治まり、入院から 6 日目の朝に退院できました。

帰国に際しては、まだふらつきが残る私の状態を慮って「救援者が必要」との医師の診断書を手配してくださいました。

そのおかげで医療保険の支援制度により、トンゴ返りで迎えに来てくれた息子と帯同する孫の 3 人がビジネスクラスで帰国できるようチケット変更も可能になりました。ほんとうに感謝に堪えません。ありがとうございました。

今春、ご帰国の折に、お目にかかれず残念で仕方がありません。きっとまたお会いできると信じ、バルセロナでの益々のご活躍とご家族様の健やかな日々を、いつも願っております。

桜木幸子 2023. 7. 4